



2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年8月6日

上場会社名 東海染工株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 3577 URL http://www.tokai-senko.co.jp
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 鷲 裕一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 河西 勝 TEL 052-856-8141
 四半期報告書提出予定日 2021年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|-------|-------|------|---|------|-------|----------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2022年3月期第1四半期 | 2,611 | △12.4 | △30 | — | 0 | △99.1 | △28 | — |
| 2021年3月期第1四半期 | 2,982 | △13.2 | △40 | — | 31 | △73.6 | △73 | — |

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 95百万円 (—%) 2021年3月期第1四半期 △277百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年3月期第1四半期 | △8.74 | — |
| 2021年3月期第1四半期 | △22.67 | — |

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第1四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2022年3月期第1四半期 | 12,576 | 6,890 | 47.8 |
| 2021年3月期 | 12,907 | 6,860 | 46.9 |

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 6,010百万円 2021年3月期 6,049百万円

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第1四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | 合計 |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年3月期 | — | 0.00 | — | 20.00 | 20.00 |
| 2022年3月期 | — | — | — | — | — |
| 2022年3月期(予想) | — | 0.00 | — | — | — |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

2022年3月期の期末の配当予想につきましては、現時点では未定であります。

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|--------|-----|------|---|------|---|---------------------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 5,400 | 0.9 | △90 | — | △70 | — | △20 | — | △6.15 |
| 通期 | 11,600 | 9.2 | 80 | — | 100 | — | 20 | — | 6.15 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、上記の連結業績予想は、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|------------|------------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2022年3月期1Q | 3,614,252株 | 2021年3月期 | 3,614,252株 |
| ② 期末自己株式数 | 2022年3月期1Q | 366,736株 | 2021年3月期 | 366,661株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2022年3月期1Q | 3,247,572株 | 2021年3月期1Q | 3,247,946株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (会計方針の変更) | 8 |
| (セグメント情報) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、世界的なIT需要の拡大や設備投資需要の回復を背景とした輸出の増加など、製造業を中心に回復の動きはあるものの、新型コロナウイルス感染症の対策としての緊急事態宣言の発令やまん延防止等重点措置が継続的に実施されるなど、一進一退の状況が続いております。

染色加工業界におきましても、長期的にはワクチン接種の加速化に伴い、個人消費を中心に回復の兆しが見込まれますが、当面は、新型コロナウイルス感染症拡大防止策としての活動制限が重石となり消費回復は見込めず、厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは国内染色加工事業にて、市場のニーズに対応した、抗菌・抗ウイルス、光触媒加工などの特殊加工素材の提案や商品開発に注力しました。海外におきましても、厳しい状況が続く中、機能商品の提案、生産・品質管理の向上、コストダウン活動に注力しました。

また、縫製品販売事業では、当社の加工技術を活かしたユニフォームマスク、抗菌・抗ウイルス素材や肌にやさしいガーゼ素材を使用した商品の提案・販売に注力しました。

また、これら商品を広く一般消費者の方々にとって頂くため、ソーシャルメディアを活用した情報配信による広報活動など、販路拡大にも努めております。

保育サービス事業では、感染症対策に万全を期すとともに、企業内（病院内）保育所の運営受託、自治体の要請に応じた認可保育園公募への参加および事業エリアの拡大に注力しております。

洗濯事業では、既存客先との取組強化、新規客先開拓を進めるとともに、生産体制の見直しやコスト削減に努めました。

これらの結果、売上高は2,611百万円（前年同期比12.4%減、371百万円減）となり、営業損失は30百万円（前年同期は営業損失40百万円）、経常利益は0百万円（前年同期比99.1%減、31百万円減）、親会社株主に帰属する四半期純損失は28百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失73百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

a. 染色加工事業

染色加工事業は、売上高は1,890百万円（前年同期比7.8%減、159百万円減）となり、営業利益は22百万円（前年同期は営業損失15百万円）となりました。

染色加工事業における部門別（加工料部門、テキスタイル販売部門）の業績は次のとおりであります。

（加工料部門）

国内では、資材用途受注が回復傾向にあったこと、および、抗菌等特殊加工の受注を取り込んだことにより、増収となりました。海外では、インドネシア子会社においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、感染症拡大前であった前年同期の水準までは受注回復しておらず、減収となりました。タイ子会社においては、感染症再拡大の影響を大きく受けており、個人消費の低迷、客先の在庫過多による受注減から、大幅な減収となりました。これらの結果、加工料部門の売上高は1,601百万円（前年同期比7.9%増、116百万円増）となりました。

（テキスタイル販売部門）

国内では、カジュアル用途販売の低迷に加え、マスク用途のガーゼ生地販売の受注が減少したため、減収となりました。海外においても、マスク用途のガーゼ生地受注の減少、感染症再拡大の影響により減収となりました。

これらの結果、テキスタイル販売部門の売上高は288百万円（前年同期比48.9%減、276百万円減）となりました。

b. 縫製品販売事業

縫製品販売事業は、光触媒マスク（抗菌・抗ウイルス）やユニフォームマスクなどの販売に取り組みましたが、イベント関連商品や量販店向け販売の低迷に加え、ガーゼ・不織布マスクの販売が減少した結果、売上高は46百万円（前年同期比84.1%減、247百万円減）、営業損失は8百万円（前年同期は営業利益22百万円）となりました。

c. 保育サービス事業

保育サービス事業は、新規拠点開設により売上は増加しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響による利用者減少、新規拠点開設やエリア拡大のための費用を計上した結果、売上高は627百万円（前年同期比5.7%増、34百万円増）、営業損失は53百万円（前年同期は営業損失57百万円）となりました。

d. 倉庫事業

倉庫事業は、新規客先開拓、各種費用の見直しを実施した結果、売上高は57百万円（前年同期比11.0%増、5百万円増）、営業利益は7百万円（前年同期比212.1%増、5百万円増）となりました。

e. 機械販売事業

機械販売事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により、海外における営業活動を実施できないことから、海外向け設備の受注が減少し、売上高は4百万円（前年同期比69.3%減、10百万円減）、営業損失は11百万円（前年同期は営業利益4百万円）となりました。

f. 洗濯事業

洗濯事業は、インバウンド需要の消滅により、ホテルリネンは大幅減少しており厳しい状況は続いておりますが、新規顧客開拓や、生産体制の見直し、各種コスト削減を実施した結果、売上高は19百万円（前年同期比36.7%増、5百万円増）、営業損失は4百万円（前年同期は営業損失17百万円）となりました。

g. その他事業

当セグメントには、システム事業、不動産賃貸事業が含まれており、売上高は21百万円（前年同期比14.6%減、3百万円減）、営業利益は17百万円（前年同期比15.7%減、3百万円減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、12,576百万円（前連結会計年度末比2.6%減、330百万円減）となりました。これは主に現金及び預金の減少233百万円、受取手形及び売掛金の減少46百万円、原材料及び貯蔵品の増加48百万円、建設仮勘定の減少122百万円等によるものです。

負債は、5,686百万円（前連結会計年度末比6.0%減、361百万円減）となりました。これは主に支払手形及び買掛金の減少109百万円、短期借入金の減少30百万円、賞与引当金の減少50百万円、長期借入金の減少160百万円等によるものです。

純資産は、6,890百万円（前連結会計年度末比0.4%増、30百万円増）となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失による減少28百万円、配当金の支払いによる減少64百万円、為替換算調整勘定の増加58百万円、非支配株主持分の増加68百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想につきましては、2021年5月10日公表時から変更していません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2021年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,274,560 | 2,041,362 |
| 受取手形及び売掛金 | 2,205,507 | 2,159,097 |
| 商品及び製品 | 173,654 | 183,778 |
| 仕掛品 | 274,828 | 264,773 |
| 原材料及び貯蔵品 | 288,776 | 337,399 |
| その他 | 243,137 | 258,976 |
| 貸倒引当金 | △17,368 | △16,154 |
| 流動資産合計 | 5,443,096 | 5,229,232 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 1,353,302 | 1,400,436 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 1,732,504 | 1,721,289 |
| 土地 | 1,754,930 | 1,758,712 |
| 建設仮勘定 | 193,027 | 70,461 |
| その他（純額） | 235,332 | 213,989 |
| 有形固定資産合計 | 5,269,097 | 5,164,889 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 70,868 | 67,293 |
| 無形固定資産合計 | 70,868 | 67,293 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,796,665 | 1,784,333 |
| 繰延税金資産 | 20,199 | 7,811 |
| その他 | 393,201 | 408,750 |
| 貸倒引当金 | △85,319 | △85,319 |
| 投資その他の資産合計 | 2,124,746 | 2,115,576 |
| 固定資産合計 | 7,464,713 | 7,347,758 |
| 資産合計 | 12,907,809 | 12,576,991 |

（単位：千円）

| | 前連結会計年度 (2021年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 610,384 | 500,963 |
| 電子記録債務 | 530,392 | 505,005 |
| 短期借入金 | 950,000 | 920,000 |
| 未払法人税等 | 38,265 | 43,943 |
| 賞与引当金 | 115,420 | 64,702 |
| 修繕引当金 | 34,900 | 34,900 |
| その他 | 796,539 | 797,489 |
| 流動負債合計 | 3,075,901 | 2,867,003 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,435,000 | 1,275,000 |
| 役員退職慰労引当金 | 22,202 | 22,782 |
| 退職給付に係る負債 | 821,589 | 828,258 |
| 資産除去債務 | 52,077 | 62,575 |
| その他 | 640,429 | 630,540 |
| 固定負債合計 | 2,971,299 | 2,819,156 |
| 負債合計 | 6,047,201 | 5,686,160 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 4,300,000 | 4,300,000 |
| 資本剰余金 | 1,400,120 | 1,400,120 |
| 利益剰余金 | 1,555,439 | 1,462,088 |
| 自己株式 | △598,336 | △598,421 |
| 株主資本合計 | 6,657,224 | 6,563,787 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 349,112 | 345,858 |
| 為替換算調整勘定 | △915,519 | △857,273 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △41,789 | △41,738 |
| その他の包括利益累計額合計 | △608,196 | △553,153 |
| 非支配株主持分 | 811,579 | 880,195 |
| 純資産合計 | 6,860,607 | 6,890,830 |
| 負債純資産合計 | 12,907,809 | 12,576,991 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 2,982,638 | 2,611,370 |
| 売上原価 | 2,602,915 | 2,265,594 |
| 売上総利益 | 379,722 | 345,775 |
| 販売費及び一般管理費 | 420,360 | 376,767 |
| 営業損失(△) | △40,637 | △30,992 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 2,570 | 450 |
| 受取配当金 | 21,197 | 20,628 |
| 為替差益 | 57,486 | 12,759 |
| 雑収入 | 8,206 | 4,586 |
| 営業外収益合計 | 89,461 | 38,425 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 3,957 | 3,551 |
| 固定資産廃棄損 | 9,577 | 288 |
| 雑支出 | 3,544 | 3,296 |
| 営業外費用合計 | 17,079 | 7,136 |
| 経常利益 | 31,743 | 296 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | — | 40,686 |
| 国庫補助金 | 46,937 | 71,250 |
| 特別利益合計 | 46,937 | 111,936 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産圧縮損 | 46,937 | 71,250 |
| 特別損失合計 | 46,937 | 71,250 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 31,743 | 40,982 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 53,252 | 23,947 |
| 法人税等調整額 | 3,510 | 14,263 |
| 法人税等合計 | 56,763 | 38,210 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △25,019 | 2,772 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 48,618 | 31,171 |
| 親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △73,638 | △28,399 |

（四半期連結包括利益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

| | 前第1四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年6月30日） | 当第1四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年6月30日） |
|-------------------|---|---|
| 四半期純利益又は四半期純損失（△） | △25,019 | 2,772 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 57,440 | △3,253 |
| 為替換算調整勘定 | △324,833 | 95,732 |
| 退職給付に係る調整額 | 14,674 | 8 |
| その他の包括利益合計 | △252,717 | 92,487 |
| 四半期包括利益 | △277,737 | 95,259 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △176,899 | 26,643 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △100,838 | 68,616 |

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（収益認識に関する会計基準等の適用）

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

なお、「収益認識に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第30号 2021年3月26日）第98項に定める代替的な取扱いを適用し、商品又は製品の国内の販売において、出荷時から当該商品又は製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。この結果、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響もありません。

（時価の算定に関する会計基準等の適用）

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3 |
|-------------------|-----------|-----------|------------|--------|----------|---------|-----------|--------------|-----------|--------------|------------------------------------|
| | 染色加工 | 縫製品 販売 | 保育 サービス | 倉庫 | 機械 販売 | 洗濯 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 2,048,556 | 290,104 | 593,082 | 3,705 | 14,939 | 14,304 | 2,964,692 | 17,946 | 2,982,638 | — | 2,982,638 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 1,137 | 4,620 | — | 48,407 | — | — | 54,166 | 7,445 | 61,612 | △61,612 | — |
| 計 | 2,049,694 | 294,724 | 593,082 | 52,112 | 14,939 | 14,304 | 3,018,858 | 25,391 | 3,044,250 | △61,612 | 2,982,638 |
| セグメント利益又は損失(△) | △15,417 | 22,421 | △57,832 | 2,404 | 4,310 | △17,351 | △61,466 | 20,738 | △40,727 | 90 | △40,637 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであるシステム事業及び付随事業である不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額90千円はセグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3 |
|-------------------|-----------|-----------|------------|--------|----------|--------|-----------|--------------|-----------|--------------|------------------------------------|
| | 染色加工 | 縫製品 販売 | 保育 サービス | 倉庫 | 機械 販売 | 洗濯 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,887,890 | 45,690 | 627,137 | 8,410 | 4,581 | 19,556 | 2,593,267 | 18,102 | 2,611,370 | — | 2,611,370 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 2,304 | 1,272 | — | 49,457 | — | — | 53,034 | 3,579 | 56,613 | △56,613 | — |
| 計 | 1,890,195 | 46,963 | 627,137 | 57,868 | 4,581 | 19,556 | 2,646,301 | 21,681 | 2,667,983 | △56,613 | 2,611,370 |
| セグメント利益又は損失(△) | 22,221 | △8,914 | △53,722 | 7,503 | △11,437 | △4,219 | △48,568 | 17,486 | △31,082 | 90 | △30,992 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであるシステム事業及び付随事業である不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額90千円はセグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。